

# 平成 26 年度 出場チーム数

国内事業本部  
2014/3/8

競技会名	代表数	都道府県名								都道府県数	チーム数	推薦	開催地	連盟推薦	合計	
クラブカップ 男子6人制	1									40	40					
	2	茨城	東京	神奈川	愛知	京都	大阪	兵庫		7	14	1	1	10	66	
		東北1	関東2	北信越1	東海1	近畿2	中国1	四国1	九州1		10					
クラブカップ 女子6人制	1									41	41					
	2	福島	栃木	愛知	京都	奈良	兵庫			6	12	1	1	10	65	
		東北1	関東2	北信越1	東海1	近畿2	中国1	四国1	九州1		10					
クラブカップ 男子9人制	1									41	41					
	2	埼玉	新潟	兵庫	広島	福岡	鹿児島			6	12	1	1	10	65	
		東北1	関東2	北信越1	東海1	近畿1	中国1	四国1	九州2		10					
クラブカップ 女子9人制	1									40	40					
	2	茨城	埼玉	愛知	兵庫	岡山	福岡	鹿児島		7	14	1	1	10	66	
		東北1	関東2	北信越1	東海1	近畿1	中国1	四国1	九州2		10					
実業団 男子 9人制	1									39	39					
	2	埼玉	静岡	京都	兵庫					4	8	1	1	4	67	
	3	東京	神奈川							2	6					
	4	愛知	大阪							2	8					
実業団 女子 9人制	1									40	40					
	2	群馬	東京	神奈川	長野	愛知	大阪	兵庫		7	14	1	1	5	56	
	3									0	0					
総合男子 9人制	1									38	38	3	1		60	
	2	埼玉	東京	神奈川	静岡	愛知	京都	大阪	兵庫	鹿児島	9					18
総合女子9人制	1	各都道府県代表1チーム								47	47	3	2		52	
		愛知	大阪	神奈川	東京	埼玉	鹿児島	兵庫	福岡	京都	補填順位					
社会人 東ブロック男子 9人制	1									13	13	0	1		36	
	2	岩手	群馬	埼玉	東京	神奈川	長野	新潟	富山	静岡	11					22
		愛知	岐阜													
東ブロック女子		各都道府県代表1チーム								24	24	0	1		25	
社会人 西ブロック男子 9人制	1									10	10	0	1		37	
	2	京都	大阪	兵庫	岡山	広島	山口	福岡	長崎	熊本	13					26
		大分	宮崎	鹿児島	沖縄											
西ブロック女子		各都道府県代表1チーム								23	23	0	1		24	

注 総合女子9人制の開催地代表は開催地+開催地ブロックとする

全国高校総体	1									39	39	0	1	0	56
	2	北海道	埼玉	千葉	東京	神奈川	愛知	大阪	兵庫	8	16				
全日本高校 選手権	1									43	43	0	1	0	52
	2	北海道	東京	神奈川	大阪					4	8				
全国中学校 選手権	1											0	1	0	36
	2	北海道2	東北4	関東8	北信越3	東海3	近畿5	中国3	四国2	九州5					
全日本小学生	1									46	46	0	1	0	49
	2	北海道								1	2				
国体 成年男女	1											0	1	0	16
		北海道1	東北2	関東3	北信越1	東海1	近畿2	中国1	四国1	九州3	15				
国体 少年男女	1											0	1	0	24
		北海道1	東北3	関東4	北信越2	東海2	近畿3	中国2	四国2	九州4					

出場チーム数

1. 各競技の本大会には、同一登録チームより出場できるチーム数は1チーム限りとする。
2. 各競技会に1協会より参加できるチーム数は1チームとするが、次の特例を認める。
  - ① 前年度同大会優勝チームは予選を経ずに参加できる。  
全日本総合男女、クラブカップ69男女、実業団選手権男女
  - ② 開催地協会は、都道府県代表チーム数（または、地区代表チーム数）の他に開催地代表として1チームを出場させることができる。（国体をのぞく）
  - ③ 総合女子については、補填都府県もあらかじめ推薦する。
  - ④ 平成26年度各種競技会の代表チーム数は、前頁の通りである。
  - ⑤ 全国高校総体については次の各協会代表を男女とも2代表とする。  
北海道・埼玉・千葉・東京・神奈川・愛知・大阪・兵庫
  - ⑥ 次の競技会は地区代表制とする。
    - ・ 第67回国民体育大会
    - ・ 全国中学校選手権大会
  - ⑦ 全日本小学生大会については北海道を男女各2代表とする。
  - ⑧ 全日本高校選手権大会については次の各協会代表は男女とも2代表とする。  
北海道・東京・神奈川・大阪（東京は開催地代表を加え3代表となる）
  - ⑨ 黒鷲旗選抜優勝大会は、選考委員会により選抜された男女各16チームとする。
  - ⑩ 全日本大学選手権は次の通りとする。
    - (ア) A方式・・・有効に登録されたチームが申し込むことができる。
    - (イ) B方式・・・東日本インカレ<ベスト8>+西日本インカレ<ベスト8>=16チーム  
+各学連比例配分枠<48チーム> 計64チーム  
学連別チーム数(男女)  
北海道(4)、東北(4)、関東(12)、北信越(3)、  
東海(5)、関西(8)、中国(4)、四国(3)、九州(5)  
※平成26年度は、男子B方式、女子A方式開催
  - ⑪ 全日本9人制実業団男女選手権大会には、前年度の成績により日本実業団連盟から男女各最大6チームが推薦される。  
(推薦チーム一覧参照のこと)
3. 開催地代表と、地区予選会出場資格における代表チーム決定の処理は、次の方法とする。  
開催地都道府県予選の結果
  - (ア) 上位チームを開催地代表とする。
  - (イ) 次位チームを地区予選会に出場させる。
4. 全国中学校選手権大会
  - (ア) 推薦チームはなし
  - (イ) ブロック別代表チーム数は下表の通り。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	合計
男子	2	4	8	3	3	5	3	2	5	1	36
女子	2	4	8	3	3	5	3	2	5	1	36

〈備考〉

- 出場チーム数は、過去数年の予選会出場チーム数と登録チーム数を調査し、調整の上決定した。
- 9人制実業団男女選手権大会の抽選は、同一都道府県、同一企業を分ける。
- 同一企業とは、同一資本、同一経営者であること。